

自然をとらとび 自然を愛し 自然に親しもう
自然に学び 自然の調和をそこなわないようにしましょう
美しい自然 大切な自然を永く子孫に伝えよう

帰るときは来たときよりも美しく
写真以外はとるべからず
足跡以外を残すべからず

1. やあ！お早う 明るい挨拶さわやかに
2. 信号で、あわてず、あせらず待つ余裕
3. ひろがるな、参加者だけの道じゃない
4. 自分のゴミ、自分の責任もち帰り
5. 歩かせて、いただく土地に感謝して

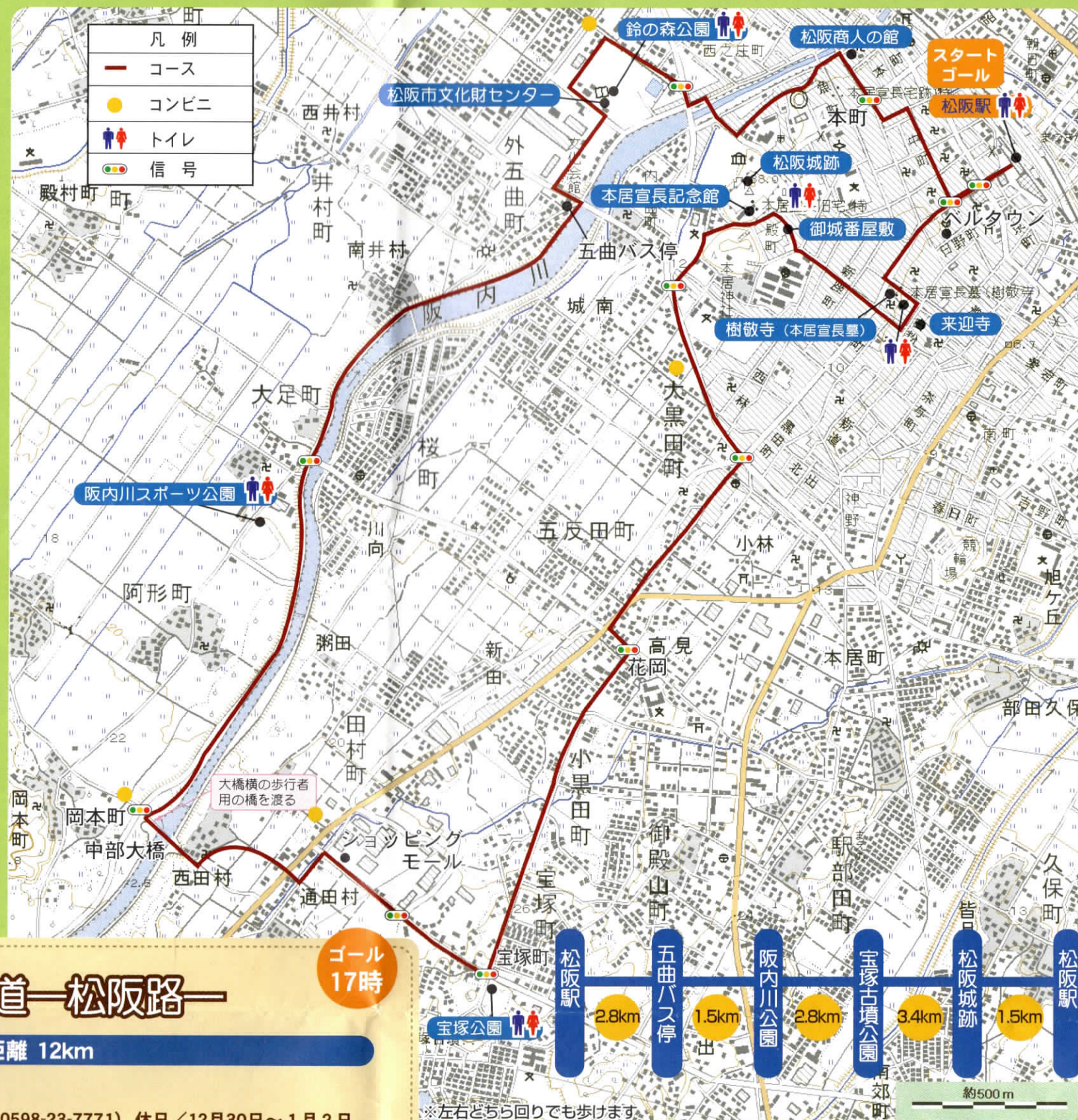
安全管理は自己の責任です。
交通ルールを守り事故のないように気をつけましょう。

距離 12km

ウォーキングステーション

松阪市観光情報センター (TEL0598-23-7771) 休日/12月30日~1月2日

ゴール
17時



※左右どちら回りでも歩けます

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平18総機、第895号)」



松阪商人の館

江戸で紙や木綿を手広く商いしていた豪商 小津清左衛門の邸宅を「松阪商人の館」として公開しています。施設内には千両箱ならぬ万両箱が展示されています。



松阪市文化財センター

宝塚古墳から出土した「船形埴輪」（国指定重要文化財）を展示しているほか、大正12年に建築された旧カネボウ綿糸松阪工場綿糸倉庫（国指定登録有形文化財）を活用したギャラリーで市民の芸術活動の場として利用されています。



宝塚古墳公園

船形埴輪が出土した宝塚1号墳と2号墳からなる古墳公園。



松阪城跡

1588年（天正16年）蒲生氏郷によって築かれた城。かつては三層の天守閣や兵部屋敷などあったが石垣を残すのみとなっています。現在、公園として整備され、桜や藤の名所、そして市民のいこいの場となっています。



本居宣長記念館（鈴屋）

「古事記伝」で有名な本居宣長の自筆稿本や自愛の品が約16,000点収蔵されています。また、敷地内には宣長が12歳から亡くなるまで暮らした旧宅「鈴屋」が移築されています。



御城番屋敷

江戸末期に旧紀州藩が松阪城警護のため移り住んだ武家屋敷。このような組長屋は全国でも大変珍しく国指定重要文化財となっており、西棟北端の一軒は内部を公開しています。



来迎寺

北畠材親によって松ヶ島に建立されましたが、蒲生氏郷の松阪城築城に伴い、城下町の白粉町に移されました。本堂は寄棟造の外陣と宝形造の内陣をつないだ複雑な外観を持ち、内部は意匠的に優れた空間構成となっています。



樹敬寺

京都知恩院の末寺で、古くは不断念仏寺というお寺でしたが、1428年（正長元年）の北畠満雅の北朝との戦いで焼失し、1528年（享禄元年）に樹敬和尚（敬譽上人）によって再興され、樹敬寺と名付けられました。このお寺は代々本居家の菩提寺であり、本居宣長・春庭のお墓が建っています。